



図1 採卵量とふ化率(3月~5月)

産卵期間は174日間でそのうち産卵が行なわれた回数は98回であった。1日当りの最高採卵量は3月31日の3,360,000粒、浮上卵数3,336,000粒、浮上卵率は99.28%であった。百万粒以上の採卵は3月は10回、4月は13回、5月は4回あり、この3ヶ月間が産卵盛期といえる。

II 初期餌料飼育試験

1. 材料と方法

供試材料は5月1日に採卵した浮上卵を500ℓ水槽に10g、1,000ℓ水槽に25gを收容、エアーストンを1個水槽中央に設置ゆるく通気を行なった。飼育日数はふ化後10日目までとし毎朝、水温と比重を測定した。飼育水は生海水だけでふ化後2日目からカキsp受精卵を、1区と4区は飼育水1cc当り0~10個、2区と5区は10~30個、3区と6区は30~50個の範囲内で投与した。カキspは午前10時に受精させ、1時間おきに4~5回換水し午後4時以降ドロコブフォーラ幼生になって浮上した頃各水槽へ投与した。

ふ化後8~9日目には各水槽にシオミズツボムシを飼育水1ccあたり5個になるように投与した。斃死魚が多いときはサイフォンにより除去し、斃死数は確認が困難であったため行なわず、最終日の取り揚げにはピーカーで仔魚をすくいとって1尾ずつ生残尾数を計数した。

表3 各区別における餌料投与量

区分	使用水槽	收容卵数	ふ化率	ふ化仔魚数	飼育日数	ドロコブフォーラ投与量
	ℓ	g	%	尾	日	個/cc
1区	500	10	84	約20,000	10	0~10
2区	500	10	"	"	"	10~30
3区	500	10	"	"	"	30~50
4区	1,000	25	"	約50,000	"	0~10
5区	1,000	25	"	"	"	10~30
6区	1,000	25	"	"	"	30~50